

自治体名 京都府

=	事業メニ		結婚_妊娠	ℯ出産	_子育てに温かいネ	社会づくり・気運醸	成事業				
	区分	}	重点メニュー								
関道	重事業	メニュー	3_2_2 地域全体で結婚・子育てを応援する気運醸成								
	個別事業名			む子育	て応援パスポート	事業		新規/継続 (一般財源での 実施も含む)	継続		
	実施期	朋間	4	令和7年	 4月1日	~ 令	和8年3月31日	事業開始年度	平成19年度		
総事	事業費(A)(円)		1,30	0,000	寄付金その他の収入予定額(E	3)(円) 0	差引額(A-B)(円)	1,300,000		
	費支出	予定額(円) ふ前の額				1,3	00,000				
		<u>区分</u>	諸謝	金	賃金	報償費	旅費	需用費	 役務費		
	総	事業費		0	0	0	0	0	0		
費	対象経費	費支出予定額		0	0	0	0	0	0		
用	対象外経	圣費支出予定額		0	0	0	0	0	0		
内		 区分	委託	<u>料</u>	使用料及び賃借料	備品購入費	負担金	補助金	計		
訳	総	事業費		0, 000	0	0	0	550, 000	1, 300, 000		
円	対象経過	費支出予定額		0, 000	0	0	0	550, 000	1, 300, 000		
	対象外紹			0	0	0	0	0	0		
		0	※上記対	象経費	支出予定額に本	・ 交付金の対象外と	なる経費は含まだ	れていない。			
対策の 中での	自治体における少子化 対策の全体像及びその 中での本個別事業の位 置付け		戦略と200 また、40日戦戦に 東重重重 本本都 重 ②「WE 5 を で で で で で で で で で で で で で で で で で で	の重は略略略 事事育守略三戦の三点ー1 2.3.4. 業業でが1ブ略三戦の子子若す のので境が 赤と	プロジェクトをとりまと 各とともに「5. 重点戦 京都を実現していく。 ・育てが楽しい風土っ どもと育つ地域・まち 者の希望が叶う環境 べての子どもの幸せ な置付け>	めた。 略と併せて着実に推 がくり っづくり でづくり でづくり ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	進する政策群」を実	において、重点的に	で暮らしやすい「子育		
	番号	項					内容				
	1	きょうと子育スポート制	度の運用								
個別事業	2	企業・店舗・ かけ		D働き ・新規協賛店舗の開拓とPR支援 府内全域での協賛店舗の拡大に向け、商店街等での面的な協賛店舗登録促進を進めるとともに、府広域振興 局と連携した掘り起こしなど、新規協賛店舗の開拓を行う。また、店舗・事業所内掲示用のステッカーを1,000部 作成し、協賛店舗に配布する。							
の内容	3	「京都府子 日本一推進 づくり部会」	会議風土 の運営	子育てを社会全体で応援する気運醸成をより効果的に実施していくにあたっては、子育て家庭のニーズが十分 に把握しきれていないといった課題も指摘されていることから、「京都府子育て環境日本一推進会議風土づくり 部会」において、子ども・子育てへの理解の深い保育・教育団体にも意見をいただきながら、連携して「きょうと 子育て応援パスポート」や「キッズフレンドリー施設」の、周知に取り組む。							

<課題>

キッズフレンドリー施設(きょうと子育て応援パスポート協賛店舗を含む)については、認知度が低く、登録店舗が伸び悩んでいることが課題であり、その課題解決に向けR6年度、民間地図アプリ等事業者との意見交換を行い、以下の点が指摘された。

- ・きょうと子育て応援パスポートサイト「まもっぷ」の利便性向上を図る必要がある ・利用者のニーズにあった協賛店舗の登録が必要

- <課題に対する取組>
 ・府内商店街や府広域振興局等と連携し、利用者のニーズに応じた新規協賛店舗の掘り起こし
 ・民間地図アプリ事業者と連携するなど、きょうと子育て応援パスポートサイトまもっぷの利便性向上
 ・推進会議構成団体や民間企業と引き続き意見交換を行い、企業や団体等を巻き込んだ、より効果的な事業展開の検討を実施。

		KPI項目	単位	目標値(時点)	現状値(時点)
少子化対策全体の重要	合計特殊的	出生率	%	全国平均並み(2040年)	1. 11
業績評価指標(KPI)及び					
定量的成果目標					
※全事業共通					
		項目	単位	直近の実	績値(時点)
参考指標	合計特殊的	出生率		1. 11	(R5)
※全事業共通	婚姻件数		件	8731	
	婚姻率			3. 5	(R5)
		KPI項目	単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	番号	項目			
		(アウトプット)			
	1	キッズフレンドリー施設登録店舗数	店舗	4500	4248
	2	子育て応援パスポート会員登録者数	人	155000	149149(11月末時点)
	3	きょうと子育て応援パスポート認知度	%	80	59. 6 (R5)
	4	新規登録店舗開拓数	店舗	300	283 (11月末時点)
個別事業の重要業績評	5				
価指標(KPI)及び定量的		(アウトカム)			
成果目標	1	交付金事業に対する事業対象者(住民等)の満足度(該当事業に限る。)	%	-	_
	2	希望どおりの結婚に向けて後押ししてくれたと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	_	_
	3	結婚、妊娠・出産、子育てに前向きになったと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	75	_
	4	「きょうと子育て応援パスポート」利用者の満足度割合	%	85	50. 6 (R5)
	5				
	6				
	7				
	8				

自治体名 京都府

事業メニュー			結婚_妊娠•出産	_子育てに温かいネ	社会づくり・気運醸り						
	区分	}	重点メニュー								
関道	重事業ス	メニュー									
1	個別事	業名	子どもを育む文	化創造事業			新規/継続 (一般財源での 実施も含む)	継続			
	実施期	朋間	令和74	年4月1日	~ 令和	□8年3月31日	事業開始年度	平成28年度			
総事	事業費(A)(円)	14,20	00,000	寄付金その他の収入予定額(B	0 (円)	差引額(A-B)(円)	14,200,000			
	費支出 動率を乗し	予定額(円) ぶ前の額			14,2	00,000					
		区分	諸謝金	賃金	報償費	旅費	需用費	役務費			
	総	事業費	0	0	1, 767, 000	825, 000	940, 000	469, 000			
費	対象経寳	費支出予定額	0	0	1, 767, 000	825, 000	940, 000	469, 000			
用	対象外経	圣費支出予定額	0	0	0	0	0	0			
内 訳		区分	委託料	使用料及び賃借料	備品購入費	負担金	補助金	計			
	総	事業費	4, 840, 000	1, 484, 000	0	50, 000	3, 825, 000	14, 200, 000			
円)	対象経費	費支出予定額	4, 840, 000	1, 484, 000	0	50, 000	3, 825, 000	14, 200, 000			
	対象外経	圣費支出予定額	0	0	0	0	0	0			
		0	※上記対象経費	上記対象経費支出予定額に本交付金の対象外となる経費は含まれていない。							
対策の)全体像)本個別	る少子化 終及びその 事業の位	戦略と20の重点にまた、4つ重点では、4つ重点では、4つ重点では、4つ重点では、4つ重点では、4つ重点では、4つ重点には、4のでは、4のでは、4のでは、4のでは、4のでは、4のでは、4のでは、4ので	プロジェクトをとりまと名とともに「5. 重点戦京都を実現して風土でいる。できるのの子でもとをでいる。できるのの子でものの子でものの子でものの子でものをせば、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では	めた。 略と併せて着実に推 がくり っづくり きづくり きづくり でくり でのである。 に、戦略 としてのの展開 る政策群	令和5年12月改定)に 進する政策群Jを実施					
	番号	項	E E			内容					
	1	子育てにや土づくり事業	美の推進 楽しくな 上記・ や、子i また、 り、社会								
個別	地域サミット の展開 2		と足並。 域の特 具体的 の課題 団体、子 地域・	みを合わせ、地域ごの 性や実情を踏まえ、 には、各地域で子育 に対する対応策を検 リーダーや関係団体 育てに関わる地域の サミットの開催(4地域	との課題、強みである 府域全体で推進する てにやさしい地域づく 討する会議、子育で)、子育で中のママ・ 様々な主体と子ども・ 携々な主体と子ども・	ネットワークづくりや扱。(4地域(山城・南丹・ りに向けたイベント(山 支援者の支援スキルド パパに役立つ製品・サ 子育て世代が関わりる	型点の活用など、気中丹・丹後)) 中丹・丹後)) 山城、南丹、中丹、∮ 向上に向けた研修会 一ビスの創出検討 合う場の創出等をお	丹後)や、子育て支援 会(対象:子育て支援 、ちびっこ運動会の開			

事業の内容

企業に向けた取組発 (1きょうと育児の日の広報展開 信について 企業・団体や府民に広く子育で

企業・団体や府民に広く子育てを応援する気運を広げ、家庭や家族の絆を改めて考える機会とする「きょうと育児の日」を普及啓発するため、「きょうと育児の日」啓発ソング「きょうと子ども・子育て応援ソング」の継続的な普及啓発を実施する。

また、府HPやラジオ、新聞等により発信を行うとともに、各種団体と連携し地域イベントへのブース出展などを行う。

<過年度の本個別事業で浮かび上がった課題の分析及びそれに対する取組(ステップアップ)>

<課題>

3

・実際に子育てしている世代は、子育てに楽しさを感じている人が多いにも関わらず、若い世代は子育てにネガティブなイメージを持っているとのアンケート結果もあり、令和6年度には子育て無関心層への子育てに関する気運醸成のため、ちびっこ運動会や大学の講座でのWEラブ赤ちゃんプロジェクトの普及啓発を実施。

・プロジェクトの認知度は約47%と上昇してきたが、若い世代の意識が変わるまでには至っていない。

<課題に対する取組>

- ・同志社大学赤ちゃん学研究センターと連携し、「赤ちゃん学講座」で啓発(9,10,12月)
- ・ライフデザインワークショップで大学生への啓発
- ・府内商店街におけるこどもまんなか月間(5月)での一斉啓発
- ・京都サンガFCと連携し、プロジェクトの趣旨を伝える普及啓発動画を作成し、公共交通機関や府内施設・市町村などでこどもまんなか月間(11月)に発信を実施。
- ・子育て世帯が親子で楽しめる「ちびっこ運動会」を府民交流フェスタという幅広い世代が集まるイベントで開催した。本イベントでは、大学生ボランティア協力のもと実施するなど若者と乳幼児がふれあう機会を創出することにもつながった。
- ・推進会議構成団体や民間企業と引き続き意見交換を行い、企業や団体等を巻き込んだ、より効果的な事業展開の検討を実施。

		KPI項目	単位	目標値(時点)	現状値(時点)
少子化対策全体の重要	合計特殊的	出生率	%	全国平均並み(2040年)	1. 11
業績評価指標(KPI)及び					
定量的成果目標					
※全事業共通					
		項目	単位		績値(時点)
参考指標	合計特殊	出生率		1. 11	(/
※全事業共通	婚姻件数		件	8731	(R5)
	婚姻率			3. 5	
		KPI項目	単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	番号	項目			
		(アウトプット)			
	1	地域サミット関係事業参加者数(延べ人数)	人	1680	1, 631 (R5)
	2	特設サイト月平均アクセス数	件	10000	16310 (R5)
	3				
	4				
個別事業の重要業績評	5				
価指標(KPI)及び定量的		(アウトカム)			
成果目標	1	交付金事業に対する事業対象者(住民等)の満足度(該当事業に限る。)	%	_	-
	2	希望どおりの結婚に向けて後押ししてくれたと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	-	-
	3	結婚、妊娠・出産、子育てに前向きになったと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	75	90 (R5)
	4	結婚や子育てを応援する行動の実現(対象企業)	%	30	12 (R5)
	5	結婚や子育てを応援する行動の実現(対象府民)	%	75	61 (R5)
	6	「きょうと育児の日」の認知度	%	60	29 (R5)
	7	「きょうと育児の日」を意識した行動実現	%	35	9 (R5)
	8				

自治体名 京都府

事	事業メニ	<u>-</u>	結婚_妊娠•出	出産_	子育てに温かいれ	±会づくり・気運醸	成事業			
	区分	}	重点メニュー							
関連	重事業ス	メニュー	3_2_2 地域全	体で	結婚・子育てを応	援する気運醸成				
1	個別事:	業名	子育ての楽しさ	子育ての楽しさ広げる事業費「WEラブ赤ちゃんプロジェクト」こども"ええ顔"発信事業 新規/継続 (一般財源での実施も含む) 継続						
	実施期	間	令和	17年	4月1日	~ 令	和8年3月31日	事業開始年度	令和3年度	
総事	業費(A)(円)	15	5,000	0,000	寄付金その他の収入予定額(E	3)(円) 0	差引額(A-B)(円	15,000,000	
	費支出	予定額(円)				15,0	000,000			
		区分	諸謝金	I	賃金	報償費	旅費	需用費	 役務費	
	総	事業費		0	0	0	50, 000	0	0	
#	対象経費	貴支出予定額		0	0	0	50, 000	0	0	
費用		費支出予定額		0	0	0	0	0	0	
内		区分	委託料		・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	 備品購入費	負担金	補助金	計	
訳		ニク 事業費	1, 000, 0	_			0	13, 950, 000	15, 000, 000	
一 円	1.0	尹 未 良 貴支出予定額	1, 000, 0	-	0	0	0	13, 950, 000	15, 000, 000	
		費支出予定額	1, 000, 00	0	0	0	0	13, 950, 000	15, 000, 000	
		0	※上記対象経費支出予定額に本交付金の対象外となる経費は含まれていない。							
対策の 中での	自治体における少子化 対策の全体像及びその 中での本個別事業の位 置付け		重点戦略2. 重点戦略4. 重点点戦略4. 《本個別事事業 《本個府都京和明子育所 3. 重点戦略1 ②「WEララ	て環境日本一」の京都を実現していく。 重点戦略1.子育てが楽しい風土づくり 重点戦略2.子どもと育つ地域・まちづくり 重点戦略3.若者の希望が叶う環境づくり 重点戦略4.すべての子どもの幸せづくり 《本個別事業の位置付け》 《本個別事業の位置付け》 京都府子育て環境日本一推進戦略 3 京都府が新たに取り組む4つの重点戦略 重点戦略1 子育てが楽しい風土づくり ②「WEラブ赤ちゃんプロジェクト」の府内全域への展開 5 重点戦略と併せて着実に推進する政策群						
	番号	項					内容			
	1		赤ちゃらかで がっぱい がい かい	プ ダー」(仮称)として任命し、チームと連携して積極的にWEラブ赤ちゃんプロジェクトに関する周知広報を実施す る。京都サンガF.C.と連携し、WEラブ赤ちゃんプロジェクトの趣旨を伝える紹介動画を作成し、サンガスタジアム で広報するとともに、公共交通機関や大型商業施設、コンビニ、飲食チェーン店等、多くの府民が日常生活の中						
個	2	地域イベン WEラブ赤ち ジェクトの普	ゃんプロ 携の R 及啓発 を持	プロ 携のもと、府内各地でイベントを開催し、普段は子どもと関わる機会がない層が子どもの笑顔に触れられる機会						

別事業の	3	ブ赤ちゃんプロジェク トの普及啓発	子育て世代を温かく見守るだけでなく、社会みんなでこどもを育てる風土づくりを進めるため、5月のこどもまんなか月間に合わせ、府内商店街で一斉にWEラブ赤ちゃんプロジェクトフラッグ・バナーの掲出を行い、府内全域で普及啓発を行う。 商店街での普及啓発:5月に実施(府内50商店街での普及啓発を想定)
容	4	けるWEラブ赤ちゃん	子育て無関心層への普及啓発のため、各公共交通機関や娯楽施設など、多様な世代の多数の府民がお出かけや通勤等の日常生活の中でWEラブ赤ちゃんプロジェクトに接する機会を確保し、社会みんなでこどもを育てる風土づくりを進める。 ・通勤時の府民の目に入る鉄道駅等のポスターや車内広告掲出 ・大型商業施設、コンビニ、飲食チェーン店等のサイネージ広告、ラジオ番組等での放映

<課題>

- ・実際に子育てしている世代は、子育てに楽しさを感じている人が多いにも関わらず、若い世代は子育てにネガティブなイメージを持っているとのアンケート結果もあり、令和6年度には子育て無関心層への子育てに関する気運醸成のため、ちびっこ運動会や大学の講座でのWEラブ赤 ちゃんプロジェクトの普及啓発を実施。
- ・プロジェクトの認知度は約47%と上昇してきたが、若い世代の意識が変わるまでには至っていない。

<課題に対する取組>

- ・同志社大学赤ちゃん学研究センターと連携し、「赤ちゃん学講座」で啓発(9,10,12月)・ライフデザインワークショップで大学生への啓発
- ・府内商店街におけるこどもまんなか月間(5月)での一斉啓発
- ・京都サンガFCと連携し、プロジェクトの趣旨を伝える普及啓発動画を作成し、公共交通機関や府内施設・市町村などでこどもまんなか月間(1 1月)に発信を実施。
- ・子育て世帯が親子で楽しめる「ちびっこ運動会」を府民交流フェスタという幅広い世代が集まるイベントで開催し、大学生ボランティア協力のも と実施するなど若者と乳幼児がふれあう機会を創出し、「子育て=楽しい」というポジティブなイメージを広げることにもつながった。

		KPI項目	単位	目標値(時点)	現状値(時点)
少子化対策全体の重要	合計特殊と	出生率	%	全国平均並み(2040年)	1. 11
業績評価指標(KPI)及び					
定量的成果目標					
※全事業共通					
		項目	単位	直近の実	績値(時点)
参考指標	合計特殊的	出生率		1. 11	• •
※全事業共通	婚姻件数		件	8731	
	婚姻率			3. 5	(R5)
		KPI項目	単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	番号	項目			
		(アウトプット)			
	1	イベント参加人数	人	400	_
	2	イベント参加者の満足度	%	80	-
	3				
	4				
個別事業の重要業績評	5				
価指標(KPI)及び定量的		(アウトカム)			
成果目標	1	交付金事業に対する事業対象者(住民等)の満足度(該当事業に限る。)	%		
	2	希望どおりの結婚に向けて後押ししてくれたと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	-	-
	3	結婚、妊娠・出産、子育てに前向きになったと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	75	90 (R5)
	4	結婚や子育てを応援する行動の実現(対象企業)	%	30	12 (R5)
	5	結婚や子育てを応援する行動の実現(対象府民)	%	75	61 (R5)
	6				
	7				
	8				

<u>(令和6年度補正分)</u> 地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書 <u>(都道府県分)</u> 個票

自治体名 京都府

本事業の担当部局名 教育庁社会教育課

=	事業メニ	ユー	ライフデナ	デイン・ 糸	結婚支援重点推進	事業							
	区分	•	重点メニュ	1—									
関道	連事業メ	ニュー	1_2_2 若し	↑世代の	り描くライフデザイ:	ン支援							
1	個別事業	業名	子育て環	境日本	一推進戦略事業						新規/継続 (一般財源での 実施も含む)	継続	t
	実施期	間	ŕ	5和7年	F4月1日	~	令和	18年	∓3月31日		事業開始年度	平成26:	年度
総事	事業費(A	4)(円)		1,000	0,000	寄付金その付	也の収入予定額(B)(円)	0		差引額(A-B)(円)	1,000,0	000
	費支出う	予定額(円) ^{る前の額}					1,00	0,00	00				
	[2	区分	諸謝	·金	賃金	報	償費		旅費		需用費	役務:	費
	総事	事業費		0	0		376, 500		246, 000		122, 500	3	30, 000
費	対象経費	支出予定額		0	0		376, 500		246, 000		122, 500	3	30, 000
用	対象外経	費支出予定額		0	0		0		0		0		0
内 訳	[2	区分	委託	料	使用料及び賃借料	備品	購入費		負担金		補助金	計	
	総事	事業費	210	0, 000	15, 000		0		0		0	1, 00	00, 000
円	対象経費	支出予定額	210	0, 000	15, 000		0		0		0	1, 00	00, 000
	対象外経	費支出予定額		0	0		0		0		0		0
	(0	※上記対	象経費	支出予定額に本る	交付金0	D対象外と	なる	る経費は含まれ	て	いない。		
対策の 中での	自治体における少子化 対策の全体像及びその 中での本個別事業の位 置付け			育の重本略略略略事等9月進い。 ままま の重本略略略略 事等月進 のこり のに進	少子化対策の全体係 竟日本一推進戦略」 『ロジェクトをとりまと 『ロジェクトをとりまと をとともに「5. 重点く。 ・育てが楽しい風土っ どもと音楽しい風土っ どもと音望が叶う環せ べての子どもの幸せ 社会全体で子和 が出って 社会を策り」に位置付け	(今和元: (かた。 (かた) (かた) (から) (から) (から) (から) (から) (から) (から) (から	年9月策定・ て着実に推 支える、あた 定)し、これに	進す	・る政策群」を実施 い子育で社会を	直し 目才	、全ての人にとっ	て暮らしやす	でいく 子育 で
	番号	項							内容				
		「子育て」及 ふれあい」 ⁵ 事業	学習支援	各学校の家庭科・保健体育科・総合的な学習の時間等で乳幼児との触れあい体験や妊婦体験などの「体験」を伴う授業を、関係機関や関係団体と連携しながら実施する。 対象:府立高校、府立特別支援学校、府内公立中学校・義務教育学校の生徒(京都市立を除く) 実践事例については随時ホームページに掲載し、地域世帯全体を対象とした情報提供・広報を実施する。									
個別事業	2	実践交流会		府立学校及び府立・市町(組合)立中学校・の教員等を対象に当事業を推進するための実践交流会を実施し、より効果的な事業実施について学ぶ機会とする。									
来の内容	3												

<過年度の本個別事業で浮かび上がった課題の分析及びそれに対する取組(ステップアップ)>

より多くの学校が本事業に取り組めるよう、実施事例の紹介や対象期間の拡大によって実施を促進する。

		KPI項目	単位	目標値(時点)	現状値(時点)	
少子化対策全体の重要	合計特殊	出生率	%	全国平均並み(2040年)	1. 11	
業績評価指標(KPI)及び						
定量的成果目標						
※全事業共通						
		項目	単位	直近の実	績値(時点)	
参考指標	合計特殊	出生率		1. 11	(R5)	
※全事業共通	婚姻件数		件	8731 (R5)		
	婚姻率			3. 5	(R5)	
		KPI項目	単位	目標値(時点)	現状値(時点)	
	番号	項目				
		(アウトプット)				
	1	受講生徒総数(高等学校・特別支援学校)	人	6200 (R7年度)	2521 (R5年度)	
	2	受講生徒総数(中学校・義務教育学校)	人	6200 (R7年度)	3498(R5年度)	
	3	交流会参加総数	人	170 (R7年度)	58 (R5年度)	
	4					
個別事業の重要業績評	5					
価指標(KPI)及び定量的		(アウトカム)				
成果目標	1	交付金事業に対する事業対象者(住民等)の満足度(該当事業に限る。)	%	100 (R7年度)	91 (R5年度)	
	2	希望どおりの結婚に向けて後押ししてくれたと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%			
	3	結婚、妊娠・出産、子育てに前向きになったと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%			
	4	「実践研究・発表会の内容をプログラムを活用した授業の計画・実施に活かしたい」とする参加者の割合	%	100 (R7年度)	45 (R5年度)	
	5					
	6					
	7					
	8					

個票 5

(令和6年度補正分) 地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書 (都道府県分) 個票

自治体名 京都府

	事業メニ		ライフデキ	デイン・ 糸	結婚支援重点推進	事業					
	区分	}	重点メニュー								
関	連事業	メニュー	1_2_2 若い世代の描くライフデザイン支援								
	個別事業名			フデザィ	(ン・育児と仕事の)	両立体験事業			新規/継続 (一般財源での 実施も含む)	継続	
	実施期間			令和7年		~ 令和	□8年	3月31日	事業開始年度	平成29年度	
総事業費(A)(円)				12,47	2,000	寄付金その他の収入予定額(B)	(円)	0	差引額(A-B)(円)	12,472,000	
	を費支出・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	予定額(円) ぶ前の額				12,4	72,00	00			
		区分	諸謝	金	賃金	報償費		旅費	需用費	役務費	
	総	事業費		0	0	0		0	0	0	
費	対象経済	費支出予定額		0	0	0		0	0	0	
用	対象外紹	圣費支出予定額		0	0	0		0	0	0	
内 訳		区分	委託	;料	使用料及び賃借料	備品購入費		負担金	補助金	計	
	総	事業費	12, 47	2, 000	0	0		0	0	12, 472, 000	
円	対象経過	費支出予定額	12, 47	2, 000	0	0		0	0	12, 472, 000	
	対象外紹	圣費支出予定額		0	0	0		0	0	0	
		0	※上記対	象経費	支出予定額に本る	交付金の対象外と	なる	経費は含まれ	ていない。		
対策の 中での	自治体における少子化 対策の全体像及びその 中での本個別事業の位 置付け		重点戦戦重点 本個別事 会 本個別事 会 不 の 本 の 本 の 本 の 本 の 本 の 本 の 本 の 本 の 本 の	重点戦略1. 子育てが楽しい風土づくり 重点戦略2. 子どもと育つ地域・まちづくり 重点戦略3. 若者の希望が叶う環境づくり 重点戦略4. すべての子どもの幸せづくり <本個別事業の位置付け> <京都府子育で環境日本一推進戦略> 重点戦略1 子育てが楽しい風土づくり ①①「子ども"ええ顔"たくさんプロジェクト」の実施							
	番号	項	目				Į.	内容			
訪問体験)				(家庭 実際に子育て家庭に訪問するもので、学生等を対象として、事前学習、体験学習、事後学習、報告会の一連のプログラム(おおむね4日間程度)を実施する。 ① 参加学生等の募集 チラシ等の作成、インターネット等を活用した効果的な広報により、参加学生等を募集 ② 受入賛同家庭の募集 受入賛同家庭については、京都府内在住又は京都府内勤務(保護者のうち一人でも可)の共働き家庭で、原則として小学校3年生以下の子どもがいる家庭を対象 ③ 両立体験コース(家庭訪問体験)の実施 (ア)事前学習 参加学生等が、自らのライフデザインを考えるワークショップのほか、子どもとの関わり方や仕事と育児の両立の実態、両立家庭での工夫等について学ぶ動画ワーク等を実施 (イ)体験実習 原則、学生等が共働き家庭を訪問し、子どもとの交流や触れ合い、仕事と育児の両立等に関する意見交換等を行う。 (ウ)事後学習 ブログラムを通して得た気づきを振り返り、仕事と育児の両立を行うに当たっての課題点や感じたことをまとめ、今後の自身のライフデザインにどう活かすのかをまとめるワークを実施する。 (エ)報告会 参加した学生等が、プログラムを通じて得た気づきや成果を共有するため、報告会を開催する。なお、学生等自身が体験学習を経て、ライフデザインを考える取組を企画するような内容も含むこととし、それをSNS等で発信・広報する。 ④ 大学・高校の授業等でのプログラムの実施大学・高校の授業等において、プログラムの内容を盛り込んで実施できるよう、大学及び高等学校等と調整を行う。							

個
別
事
業
の
内
容

2

3

両立体験コース(子育 子育て関係機関に訪問するもので、学生等を対象として、事前学習、体験学習、事後学習、報告会の一連のプロ て関係機関等体験) グラム(おおむね4日間程度)を実施する。

①参加学生等の募集

チラシ等の作成、インターネット等を活用した効果的な広報により、参加学生等を募集 子育て関係機関等とは、学生等が今後のライフデザインを考える上で、参考となる機関とし、施設見学と学生等が関係機関等の関係者や利用者にインタビューできる時間が設定できる機関とする。想定される機関としては、保育所、子育て広場などのうち、学生等が訪問先を選択できるような複数のメニューを設定

② 両立体験コース(子育て関係機関等体験)の実施

(ア)事前学習

参加学生等が、自らのライフデザインを考えるワークショップのほか、子どもとの関わり方や仕事と育児の両立 の実態、子育て関係機関等について学ぶことができる内容で実施 (イ)体験学習

原則、学生等が子育て関係機関等を訪問し、子どもとの交流や触れ合い、仕事と育児の両立に関する意見交換 等を行う。

(ウ)事後学習

体験学習を通じて得た気づきを振り返り、仕事と育児の両立を行うに当たっての課題や感じたことをまとめ、今 後の自身のライフデザインにどう活かすのかをまとめるワークを実施する。

(工)報告会

参加した学生等が、プログラムを通じて得た気づきや成果を共有するため、報告会を開催する。 なお、学生等自身が体験学習を経て、ライフデザインを考える取組を企画するような内容も含むこととし、それを SNS等で発信・広報する。

子育て家庭交流会

学生等を対象として、子育て家庭との交流会を実施する。

①参加学生等の募集

参加学生等を募集するに当たっては、京都ジョブパークや大学等との関係構築に努め、学生等向けの説明会を 実施するなど、参加学生等を募集

②交流賛同家庭の募集

交流賛同家庭については、京都府内在住又は京都府内勤務(保護者のうち一人でも可)の共働き家庭で、原則と して小学校3年生以下の子どもがいる家庭を対象

③子育て家庭交流会コースの実施(目安:3~5回程度)

おおむね1日程度で実施できるような内容で、学生等が、自らのライフデザインを考えるワークショップのほか、子 どもとの関わり方や仕事と育児の両立の実態、両立家庭での工夫について学ぶワーク等を行うとともに、子育て 家庭と子どもとの交流や触れ合い、仕事と育児の両立等に関する意見交換等を行う。(子育て家庭については、 複数の家庭と交流を行う。

参加者間で、交流後の気づきや感じたことを共有し、それを踏まえて自身のライフデザインを再設計するワークも

④ 大学・高校の授業等でのプログラムの実施

大学・高校の授業等において、プログラムの内容を盛り込んで実施できるよう、大学及び高等学校等と調整を行

<過年度の本個別事業で浮かび上がった課題の分析及びそれに対する取組(ステップアップ)>

- ・これまで7日間で実施してきたもの(両立体験コース)を4日間に変更することで参加しやすいプログラムとする。
- ・上記4日間のコースは1つの家庭としか意見交換等できないため、子育て家庭交流会コースを設けて、複数の家庭と学生が交流できる場を提供。それにより、様々な家庭の様子を知ることができ新たな価値観の創造につなげ、よりポジティブなイメージを持ってもらう。

		KPI項目	単位	目標値(時点)	現状値(時点)
少子化対策全体の重要	合計特殊と	出生率	%	全国平均並み (2040年)	1. 11
業績評価指標(KPI)及び					
定量的成果目標					
※全事業共通					
		項目	単位	直近の実	績値(時点)
参考指標	合計特殊と	出生率		1. 11	(R5)
※全事業共通	婚姻件数		件	8731	
	婚姻率			3. 5	
		KPI項目	単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	番号	項目			
		(アウトプット)			
	1	両立体験コース参加者数	人	20	41(R6.11末)
	2	子育て家庭交流会コース	人	150	884(R6.11末)
	3				
	4				
個別事業の重要業績評	(5)				
価指標(KPI)及び定量的		(アウトカム)			
成果目標	1	交付金事業に対する事業対象者(住民等)の満足度(該当事業に限る。)	%		
	2	希望どおりの結婚に向けて後押ししてくれたと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%		
	3	結婚、妊娠・出産、子育てに前向きになったと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	80	66.7%(R6.11末時点)
	4				
	(5)				
	6				
	7				
	8				

自治体名 京都府

pijir	事業メニ	-ュー	ライフデザイン・結婚支援重点推進事業							
	区分	}	重点メニュー							
関道	重事業.	メニュー	1_2_2 若い世代の描くライフデザイン支援							
1	個別事	業名	妊娠・出産に関する医療	妊娠・出産に関する医学的知識とライフデザインを一体的に学ぶ機会を創出するライフデザインセミナー事業 新規/継続 (一般財源での実施も含む)						
	実施其	期間	令和7	令和7年4月1日 ~ 令和8年3月31日 事業開始年度 令和7						
総事	事業費((A)(円)	6,60	14,000	寄付金その他の収入予定額(E	3)(円) 0	差引額(A-B)(円)	6,604,000		
	費支出動率を乗り	 予定額(円) ふ前の額			6,60	04,000				
ж іп		区分	諸謝金	賃金	報償費	旅費	需用費	役務費		
	総	事業費	0	0	0	0	0	0		
費	対象経	費支出予定額	0	0	0	0	0	0		
用	対象外紹	 怪費支出予定額	0	0	0	0	0	0		
内訳		区分	委託料	使用料及び賃借料	備品購入費	負担金	補助金	計		
	総	事業費	6, 604, 000	0	0	0	0	6, 604, 000		
円)	対象経	費支出予定額	6, 604, 000	0	0	0	0	6, 604, 000		
	対象外紀	圣費支出予定額	0	0	0	0	0	0		
		0	※上記対象経費支出予定額に本交付金の対象外となる経費は含まれていない。							
対策の 中での	自治体における少子化 対策の全体像及びその 中での本個別事業の位 置付け		また、4つ重点戦 て環境日本一」の 重点戦略1 重点戦略2 重点戦略3 重点戦略4 す 《本個別事業の代 《京都府子育で5	京都府子育て環境日本一推進戦略」(令和元年9月策定・令和5年12月改定)において、重点的に取り組む4つの重点 戦略と20の重点プロジェクトをとりまとめた。 また、4つ重点戦略とともに「5. 重点戦略と併せて着実に推進する政策群」を実施し、全ての人にとって暮らしやすい「子育 で環境日本一」の京都を実現していく。 重点戦略1. 子育てが楽しい風土づくり 重点戦略2. 子どもと育つ地域・まちづくり 重点戦略3. 若者の希望が叶う環境づくり 重点戦略4. すべての子どもの幸せづくり <本個別事業の位置付け> <京都府子育で環境日本一推進戦略> 重点戦略3. 若者の希望が叶う環境づくり						
	番号	項	B			内容				
個別事業の	1	ライフデザ・ ナーの実施	会きる①アーイウェー検②アー・大学のでは、できるのでは、サイフ・カー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	られるように、プレコえることができる内容 アデザインワークション業で働く方を対象とし 業で働く方を対象とし 崔回数、時間等 回数は3回以上(計50 崔方法 対面開催又し 加者の募集 ノ等の作成、インター インデザインセミナーの	ンセプションケアの観点をテーマとした講演にアーマとした講演にアーマとした講演にアーの中でたライフデザインセミの名程度)はオンライン開催ネット等を活用した努力実施職場の先輩社員や行うイフデザインセミナー500名程度)又はオンライン開催にスット等を活用した。	見点も含め、今後若手会を実施。また、将来実施。 実施。 ナーの開催 ・サーの開催 ・サーの開催 ・サーの開催 ・サーの開催	社員や大学生等がのライフデザインを のライフデザインを 参加者を募集 局の担当者も参加で	インについて考える機 ライフデザインを前向 視覚的にイメージでき きるよう内容について		

容		ライフデザイ		・企業の人事担当者や産業保健師等が研修を行うことができ	るよう、	ライフデザインに関す	する研修プログラムを				
		る研修プログル	フラムの	作成 ・若年期から妊娠に関する医学的な知識とライフデザインを **	とえる機	会を一体的に提供す	- るための高校生向け				
	2	17/%		本 年 州 から 対 派 に 関 す る と 中 的 な 知識 と ブイン ア							
		プレコンセフ	プションケ	マョンケ 京都府医師会の監修を受けた上で、広く一般にプレコンセプションケアも含めたライフデザインの推進							
		アに関する	動画の作	動画を作成。なお、動画については、30秒程度の動画1種類、3分程度の動画1種類を作成							
	3	成									
	く過年	度の本個別	事業で浮か	び上がった課題の分析及びそれに対する取組(ステップアップ	プ)>						
				KPI項目	単位	目標値(時点)	現状値(時点)				
ホラ ル	. . ^	は の手悪	合計特殊		學位	白 1示1但 (吋	現 水 個(時点)				
		:体の重要 (KPI)及び	口口1177/1	<u>4</u>	70	王国十岁亚07(2040年)	1.11				
]成果目										
※全事		IX.									
				項目	単位	直近の実	績値(時点)				
参考指	標		合計特殊的	出生率		1. 11	(R5)				
※全事	業共通		婚姻件数		件		(R5)				
			婚姻率				(R5)				
				KPI項目	単位	目標値(時点)	現状値(時点)				
			番号	項目							
				(アウトプット)							
			1	セミナー実施回数	回	10					
			2	セミナー参加者数	人	1000					
			3								
伸叫事	要のま	- 田 - 李 〈丰 = 江	4								
		要業績評れています。	(5)	(¬+1+1)							
	西指標(KPI)及び定量的 成果目標		(1)	(アウトカム) 交付金事業に対する事業対象者(住民等)の満足度(該当事業に限る。)	%						
			2	ネジジおりの結婚に向けて後押してくれたと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	_	_				
			3	新主との900和頃に同じて後押しして代じと感じた人の割合(該当事業に限る。) 結婚、妊娠・出産、子育でに前向きになったと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	80	_				
			4)	The second secon	, 0						
			5								
			6								
			7								
			(8)								



京都府 自治体名

			目 活体名								
			本事業の担	本事業の担当部局名 健康福祉部こども・子育て総合支援室							
Į	事業メニュー	結婚支援コンシュ	吉婚支援コンシェルジュ事業								
	区分	結婚支援コンシュ									
関	連事業メニュー	2_1 結婚支援コン									
個別事業名		京都府結婚支援コンシェルジュ事業						継続			
	実施期間	令和7年	F4月1日	~	令和8	3年3月31日	事業開始年度	令和5年度			
総事業費(A)(円)		12,14	4,000	寄付金その	他の収入予定額(B)(F	0	差引額(A-B)(円)	12,144,000			
	を費支出予定額(円) #助率を乗じる前の額	12,144,000									
	区分	諸謝金	賃金	幸	B 償費	旅費	需用費	役務費			
	総事業費	0	0	0		0	0	0			
費	対象経費支出予定額	0	0	0		0	0	0			
用	対象外経費支出予定額	0	0	0		0	0	0			
内 訳	区分	委託料	使用料及び賃借料	備品購入費		負担金	補助金	計			
	総事業費	12, 144, 000	0	0		0	0	12, 144, 000			
\bigoplus	対象経費支出予定額	12, 144, 000	0		0	0	0	12, 144, 000			
	対象外経費支出予定額	0	0		0	0	0	0			
	0	※上記対象経費	党支出予定額に本る	交付金の	の対象外とな	る経費は含まれ	ていない。				
	〈自治体における少子化対策の全体像〉※全事業共通 「京都府子育て環境日本一推進戦略」(令和元年9月策定・令和5年12月改定)において、重点的に取り組む4つの重点戦略と20の重点プロジェクトをとりまとめた。また、4つ重点戦略とともに「5. 重点戦略と併せて着実に推進する政策群」を実施し、全ての人にとって暮らしやすい「子育て環境日本一」の京都を実現していく。重点戦略1. 子育てが楽しい風土づくり重点戦略2. 子どもと育つ地域・まちづくり重点戦略2. 子どもと育つ地域・まちづくり重点戦略3. 若者の希望が叶う環境づくり重点戦略4. すべての子どもの幸せづくり										

中での本個別事業の位 置付け

<本個別事業の位置付け>

子育て環境日本一を目指し、令和5年12月に改定した「京都府子育て環境日本一推進戦略」で、「若者の希望が叶う環境 づくり」を重点戦略の1つとし、その政策群の中に「「婚活応援プロジェクト」の実施」を挙げている。 本個別事業は、上記の達成を目指す中で、結婚支援コンシェルジュの配置や婚活支援ボランティア(婚活マスター)による相談支援体制の強化、婚活イベント・セミナーの開催等により、きょう婚活応援センターの機能を強化するとともに会員数の増加・交際率・成婚数の向上を目指すものである。

	番号	項目	内容
	1	①配置先 ②雇用形態 ③配置人数 ④人数の考え方	①きょうと婚活応援センター ②センター運営業者に委託 ③2名 ④センターのAIマッチングシステムの導入に伴う市町村や関係団体からの相談増加への対応や市町村等との連携を強化するための業務を行う者を1名、企業・団体が実施する婚活支援をサポートするための業務を行う者を1名配置。
個別	2	活動内容(1)	(実施体制)きょうと婚活応援センターの運営全般について京都府と委託契約を締結する業者が、結婚支援業務に関する専門的な知見・経験を持つ者を結婚支援コンシェルジュとしてセンターに2名配置し、府内市町村、企業、NPO、地域の婚活支援団体等の結婚支援を技術面・情報面から支援するほか新規取組企業の掘り起こしや企業間のマッチングを行う。
事業の内容	3	活動内容(2)	(市町村への働きかけ)きょうと婚活支援ネットワーク会議に参加している市町村や地域の婚活支援団体に対しては、個別訪問により現状把握を行うほか、婚活イベントやセミナー等の開催支援を行う。また、同会議に未参加の市町村や地域の婚活支援団体に対しては、結婚支援業務に取り組んでもらえるよう、個別訪問による情報提供や意見交換等によりイベントや補助金事業等の企画提案を行う。 (企業への働きかけ)センターの団体会員(約100社)へのニーズ調査や個別訪問により現状把握を行うほか、ニーズに応じた結婚支援の取組を提案し、開催サポートを行う。府内全域に婚活支援が広がるよう新規取組企業の掘り起こしを行うほか婚活支援を実施したい企業同士のマッチングを行う。(その他)きょうと婚活支援ネットワーク会議登録団体を対象とした会議を年2回程度開催する。また、こども家庭庁が実施する結婚支援コンシェルジュ会議への参加、情報提供等の協力を行う。

- ・担当者の変更などもあり、団体・企業において婚活支援のノウハウが蓄積されていないため、結婚支援コンシェルジュが訪問等を行うことで情 報面を支援。
- 報面と又接。 ・従業員の属性やハラスメント防止の観点から単独で婚活支援を実施することが難しいという声が聞かれることから、結婚支援コンシェルジュが 訪問等を行うことで技術面を支援。 ・地域の工業団地など、従業員の属性が偏っており出会いが少ない業種間でのマッチングを行う。

		KPI項目	単位	目標値(時点)	現状値(時点)
少子化対策全体の重要	合計特殊	出生率	%	全国平均並み(2040年)	1. 11
業績評価指標(KPI)及び					
定量的成果目標					
※全事業共通					
		項目	単位	直近の実	績値(時点)
参考指標	合計特殊的	出生率		1. 11	(R5)
※全事業共通	婚姻件数		件	8731	(R5)
	婚姻率			3. 5	(R5)
		KPI項目	単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	番号	項目			
		(アウトプット)			
	1	対面・オンラインによる個別訪問市町村数/府内市町村数	%	100 (R7年度)	100
	2	対面・オンラインによる企業・団体への個別訪問数	社	100	集計中
	3	コンシェルジュとの協働により実施したイベント数	件	10	集計中
	4				
個別事業の重要業績評	5				
価指標(KPI)及び定量的		(アウトカム)			
成果目標	1	交付金事業に対する事業対象者(住民等)の満足度(該当事業に限る。)	%	80	集計中
	2	希望どおりの結婚に向けて後押ししてくれたと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	1	_
	3	結婚、妊娠・出産、子育てに前向きになったと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	_	_
	4	市町村職員のコンシェルジュ事業に対する満足度	%	80	集計中
	(5)	コンシェルジュの働きかけにより取組を始めた市町村の数	市町村	10	集計中
	6	コンシェルジュの働きかけにより取組を始めた企業・団体等の数	団体	10	集計中
	7				
	8				

___(令和6年度補正分) 地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書 (都道府県分) 個票

自治体名 京都府

1	事業メニュー	ライフデザイン・結婚支援重点推進事業							
	区分	重点メニュー	重点メニュー						
関注	車事業メニュー	1_2_5 地域の結婚支援ボランティア・事業者等を活用した伴走型結婚支援の充実							
	個別事業名	婚活支援ボラン	ティア(婚活マスタ	新規/継続 (一般財源での 実施も含む)	継続				
	実施期間	令和7年	∓4月1日	~ 令和	18年3月31日	事業開始年度	令和4年度		
総事	事業費(A)(円)	2,71	3,000	寄付金その他の収入予定額(B)	(円) 0	差引額(A-B)(円)	2,713,000		
	養支出予定額(円) 動率を乗じる前の額			2,71	3,000				
	区分	諸謝金	賃金	報償費	旅費	需用費	役務費		
	総事業費	0	0	1, 041, 700	12, 000	0	0		
費	対象経費支出予定額	0	0	1, 041, 700	12, 000	0	0		
用	対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0	0		
内 訳	区分	委託料	使用料及び賃借料	備品購入費	負担金	補助金	計		
$\widehat{}$	総事業費	1, 659, 300	0	0	0	0	2, 713, 000		
鬥	対象経費支出予定額	1, 659, 300	0	0	0	0	2, 713, 000		
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0	0		
対策σ	なにおける少子化 全体像及びその 本個別事業の位・	「京都府子育て環戦略と20の重点にまた、4つ重点にまた、4日本略1. 子重点点戦略2. 子重点点戦略83. 重点点戦略84. マークイリリ事業の位本のでは、本間のでは、本間のでは、本間のでは、本間のでは、本間のでは、本間のでは、ないでは、本間では、またが、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは	プロジェクトをとりまと格とともに「5. 重点戦京都を実現していく。子育てが楽しい風土できると育立が乗つ地域・また。その希望が叶う環ゼーを目指し、令和5年のを目指とし、令その別で成を目指とし、目指とに、日間では、	(令和元年9月策定・グルトで、) (令和元年9月策定・グルトで、) (かた。 略と併せて着実に推定がくりまつくり でいる でいます でいます でいます でいます でいます でいます でいます でいます	令和5年12月改定)に 進する政策群」を実施 都府子育て環境日本- な援プロジェクト」の実 シェルジュの配置や婚 より、きょう婚活応援セ	し、全ての人にとっ 一推進戦略」で、「若 施」を挙げている。 舌支援ボランティア	て暮らしやすい「子育 活者の希望が叶う環 (婚活マスター)によ		
	番号 項	i目			内容				
個別事	①婚活マス 集・養成 1	キルム、デャンのでは、アウスを表している。これでは、カースを表している。これでは、カースをは、カースをは、カースをは、カースを表している。これでは、カースをまりでは、カースを表している。これでは、カースを表している。これでは、カースを表している。これでは、カースを表している。これでは、カースを表している。これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、	7. こども家庭庁が作成する「結婚支援ボランティア等育成モデルプログラム」を活用し、婚活マスターの養成やスキルアップ等を目的とした体系的な育成計画、マニュアル及びガイドブックを策定・実践する(AIマッチングシステムやオンライン婚活システムの活用の増加に伴う新たな相談内容にも対応できるように適宜改訂する。)。また、新規に登録する婚活マスターを対象とした養成研修を2回程度実施することとし、AIマッチングシステムやオンライン婚活システムの概要や現在の婚活支援のニーズ、効果的なイベントの開催手法等具体的な婚活支援のノウハウを含めた研修内容の検討、講師・会場選定を行うとともに、広報周知のためチラシを作成し、市町村や地域団体、さらには企業等へも配布・説明することにより、積極的な人材発掘を行う。参加予定人数:30人(京都市会場:20人、北部会場:10人) さらに、婚活マスターが当時に大きなどの各種サポートを実施する。なお、婚活マスターの活動費は実費相当額で、成功報酬は含まれていない。 婚活マスターは、婚活応援センターの会員等を対象とした出会いイベントを主催するなどして結婚を希望する方々の支援に取り組むが、イベントの開催にとどまらず、成婚までの伴走支援ができるよう、イベントやセンターの会員登録会の前後に婚活マスターの相談会を行うなど定期的に利用者と婚活マスターが顔を合わせる機会を作り、成婚までのサポートができる関係構築を図る。						

業の内容	2	②婚活マスターのス キルアップ・ネットワー ク形成	婚活マスターのスキルアップのため、「結婚支援ボランティア等育成モデルプログラム」に基づき研修を開催し、個人情報保護やセクシャルハラスメント、パワーハラスメントのほか、AIマッチングシステムやオンライン婚活システムの概要や婚活マスターとしての新たな役割等を含め、結婚支援業務に関する実務知識等の研修を年4回程度行う。(参加予定人数:30名×4回=120名)また、婚活マスター同士が連携して活動することでより効果的な婚活支援体制が整うことから研修以外にも交流会を開催し、婚活支援に関するナレッジの共有や意見交換を行う。このほか、本事業の実施期間中は、適宜課題の抽出等を行うとともに、こども家庭庁が実施する事業の実施状況に関する調査等(フォローアップ)に協力する。
	3		

- ・結婚支援ボランティア(婚活マスター)の高齢化や各々の事情により活動をやめられる方もいる中、新たな層にもアプローチするため、市町村等との連携を強化し、地域に根差したお世話焼きさんとして新規マスターを発掘。
 ・結婚を希望する独身男女の意識やニーズの変化にあわせて、婚活支援にあたる婚活マスターのスキルアップを図るため、こども家庭庁のマニュアルをベースとした研修を実施。
 ・婚活マスターを対象とした研修・交流会を行い、情報交換を行うとともにマスター同士の連携を強化し、婚活イベントを共同で企画・開催。

		KPI項目	単位	目標値(時点)	現状値(時点)
少子化対策全体の重要	合計特殊出	出生率	%	全国平均並み(2040年)	1. 11
業績評価指標(KPI)及び					
定量的成果目標					
※全事業共通					
		項目	単位		績値(時点)
参考指標	合計特殊と	出生率		1. 11	(/
※全事業共通	婚姻件数		件	8731	(R5)
	婚姻率			3. 5	(/
		KPI項目	単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	番号	項目			
		(アウトプット)			
	1	婚活マスター登録者数	人	60	61
	2	婚活マスターのスキルアップ研修受講率	%	65	集計中
	3	婚活マスター養成研修参加者数	人	30	25
	4	婚活マスターの支援を受けた会員数	人	1800	集計中
個別事業の重要業績評	5				
価指標(KPI)及び定量的		(アウトカム)			
成果目標	1	交付金事業に対する事業対象者(住民等)の満足度(該当事業に限る。)	%	80	調査中
	2	希望どおりの結婚に向けて後押ししてくれたと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	80	調査中
	3	結婚、妊娠・出産、子育てに前向きになったと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%		
	4	結婚支援に対する理解、関心が深まったと回答した婚活マスターの割合	%	80	集計中
	5	婚活マスターの支援を受けた会員の満足度	%	80	集計中
	6				
	7				
	8				

自治体名 京都府

1	事業メニ	ــــــــــــــــــــــــــــــــــــــ	ライフデザイン・結婚支援重点推進事業							
	区分	>	一般メニュー							
関	連事業ノ	ノニュー	1_1_3 出会いの機会・場の提供に関する取組							
	個別事	業名	「出会いは京都	「出会いは京都」きょうと婚活応援センター事業 新規/継続 (一般財源での 実施も含む)						
	実施期	間	令和7:	年4月1日	~	□8年3月31日	事業開始年度	平成27年度		
総事	事業費(A)(円)	6,28	30,000	寄付金その他の収入予定額(日	(円)	差引額(A-B)(円)	6,280,000		
	費支出 動率を乗じ	予定額(円) る前の額			6,28	30,000				
		 区分	諸謝金	賃金	報償費	旅費	需用費	 役務費		
	総	事業費	0	0	0	0	0	0		
費	対象経費	貴支出予定額	0	0	0	0	0	0		
用	対象外経	費支出予定額	0	0	0	0	0	0		
内 訳		区分	委託料	使用料及び賃借料	備品購入費	負担金	補助金	計		
$\widehat{}$	総	事業費	6, 280, 000	0	0	0	0	6, 280, 000		
円	対象経費	費支出予定額	6, 280, 000	0	0	0	0	6, 280, 000		
	対象外経	費支出予定額	0	0	0	0	0	0		
		0	※上記対象経	- 貴支出予定額に本語	・ 交付金の対象外と	なる経費は含まれ	ていない。			
対策の 中での	自治体における少子化 対策の全体像及びその 中での本個別事業の位 置付け		戦略と20の重点 また、4つ重点 で環境に戦略4. で環境点戦略8. 三重重点 戦略8. 三重重点 戦略8. 三重重点 で 本質でより 関東 で が で で で で で で で で で り の の の の り の り の り の	プロジェクトをとりまといまといまといまといまといまという。重点戦京都を実現して、風土ででもと育てが楽しい風土ででもと育望が叶う環境である。一次である。一次である。一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、	めた。 略と併せて着実に推 がくり らづくり きづくり ・でで、お婚支援コン・セミナーの開催等に	都府子育て環境日本 応援プロジェクト」の実 シェルジュの配置や婚	し、全ての人にとっ 一推進戦略」で、「れ 施」を挙げている。 活支援ボランティア	って暮らしやすい「子育 苦者の希望が叶う環		
	番号	項				内容				
		体験型婚活(スポーツ頻賞婚、料理ジェクト婚、流会)等の原	音、文化鑑出会いの機会を提供する「プロジェクト婚」や、若手社員の出会いの場となりかつ婚活支援の種まきとなる異業婚、プロ類で流会の開催を通じて、自然な出会いの場をより多く提供することで、府内の婚活機運を盛り上げ、結婚を希望する独身男女の交際率・成婚率の向上を目指す。(体験料や食材費などの対象外経費は含まれていない。)また、イベント参加者には、オンライン等も活用した婚活スキルアップセミナーの受講や、婚活マスターによる相談会(フォローアップ)、新規会員登録会の開催等を含め、有機的な連携によりイベントを実施する(年10回程度開催、募集定員:各回20名程度)。							
個別	2	センダー開設記念イベン				II及问エと、更なる会員 中的な広報を実施する		10周年を記念した「婚		

事業の内容	3	婚活セミナーの開催	オンライン又は対面でコミュニケーション術やAIマッチングシステム利用にあたってのシステムの利用方法、プロフィールの書き方、お見合いのやり方、交際時のお相手との向き合い方など婚活の各段階で生じる悩みに対応できるセミナーを開催する。婚活セミナー等の参加定員は各20名程度で、会員向け及び非会員向けを合わせて12回程度実施することとし、府外・府内各地からも参加できるよう、オンライン又は対面形式が選択できるものとする。婚活セミナー等終了後には、マッチングイベントの開催や婚活マスターによる相談会(フォローアップ)等に加え、新規会員登録会を開催するなど、有機的な連携により実施する。また、オンラインによる結婚相談については、令和4年度に導入したオンライン婚活システム等を活用し、オンライン又は対面での相談体制を令和7年度も継続して実施する。
-------	---	-----------	--

- <過年度の本個別事業で浮かび上がった課題の分析及びそれに対する取組(ステップアップ)>
- ・結婚を希望しているが何から始めていいかわからないという独身男女に対し、京都の特色を活かした体験や趣味をテーマに打ち出した婚活 イベントを実施することで、参加のハードルを下げ、出会いの場を提供。 ・対象を独身の若手社会人とした異業種交流会を開催し、自分の価値観やライフデザインを見直すきっかけを作るとともに、出会いを求めてい
- る同年代との交流の機会を提供。
- ・きょうと婚活応援センターは令和7年度に開設10周年を迎えるため、周年記念として大規模イベントを実施し、新たな層を取り込む。 ・出会いを求めているが何から始めていいか分からない方や、異性とのコミュニケーションに自信がないという方などに対し各種セミナーを実

ル巴。					
		KPI項目	単位	目標値(時点)	現状値(時点)
少子化対策全体の重要	合計特殊	出生率	%	全国平均並み(2040年)	1. 11
業績評価指標(KPI)及び					
定量的成果目標					
※全事業共通					
		項目	単位	直近の実	績値(時点)
参考指標	合計特殊的	出生率		1. 11	(R5)
※全事業共通	婚姻件数		件	8731	(R5)
	婚姻率			3. 5	(R5)
		KPI項目	単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	番号	項目			
		(アウトプット)			
	1	体験型婚活イベントの参加者数	人	200	334
	2	体験型婚活イベントの募集定員に対する参加者の割合	%	100	92. 5
	3	婚活セミナー(スキルアップセミナー等)の参加者数	人	240	集計中
	4	婚活セミナー(スキルアップセミナー等)の募集定員に対する参加者の割合	%	80	集計中
個別事業の重要業績評	(5)				
価指標(KPI)及び定量的		(アウトカム)			
成果目標	1	交付金事業に対する事業対象者(住民等)の満足度(該当事業に限る。)	%	80	85. 9
	2	希望どおりの結婚に向けて後押ししてくれたと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%		
	3	結婚、妊娠・出産、子育てに前向きになったと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	80	調査中
	4	引き合わせ成立数	組	135	集計中
	(5)	体験型婚活イベント参加者の満足度	%	80	85. 9
	6	婚活セミナー(スキルアップセミナー等)受講後、婚活に対し、自信がついた参加者の割合	%	80	集計中
	7				
	8				

固票 10

____(令和6年度補正分)____ 地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書 ___(都道府県分)___ 個票

自治体名 京都府

	事業メニ	-1-	ライフデザ	「イン・糸	洁婚支援重点推進	事業					
	区分	}	一般メニュー								
関連	重事業ノ	メニュ ー	1_1_1 結婚								
1	個別事	業名	きょうと婚え	まようと婚活応援センター運営事業 新規/継続 (一般財源での 実施も含む)						継続	
	実施期	間	令	3和7年	4月1日	~	令和	18年3月31日		事業開始年度	平成27年度
総事	事業費(A)(円)		26,10	7,316	寄付金その他の4	Q入予定額(B)	(円) 3,000,000		差引額(A-B)(円)	23,107,316
	費支出 ³ 助率を乗じ	予定額(円) る前の額					25,60	07,316		,	
	ı	 区分	諸謝:	金	賃金	報償	費	旅費		需用費	 役務費
	総	 事業費		0	0	4	1, 700	253, 500		1, 440, 000	300, 000
		費支出予定額		0	0		1, 700	253, 500		1, 440, 000	300, 000
費 用	対象外経	費支出予定額		0	0		0	0		0	0
内		区分	委託	料	使用料及び賃借料	備品購	入費	負担金		補助金	計
訳		<u>ニカ</u> 事業費	17, 433		5, 238, 216	ин ни му	0	0		1, 400, 000	26, 107, 316
円		ティス 貴支出予定額	17, 433		5, 238, 216		0	0		900, 000	25, 607, 316
		費支出予定額	,	0	0		0	0		500, 000	500, 000
		○ ※上記が			 支出予定額に本る	たけ全の☆			1 7		000, 000
		<u> </u>			少子化対策の全体像			なる性負は占み1		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
対策の 中での	自治体における少子化 対策の全体像及びその 中での本個別事業の位 置付け		ま環 4 日本戦戦戦 別でを別様な 4 日点点点点 個 育 リ別個支 での 1 日本談 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日	直点の1.上路路2.3.4.4.4.5.6.6.7.7.7.7.7.7.7.7.7.7.7.7.7.7.7.7.7.7.7.7.7.7.7.7.7.7.7.7.7.7.7.7.7.7.7.7.7.7.7.7.7.7.7.7.7.7.7.7.7.7.7.7.7.7.7.7.7.7.7.7.7.7.7.7.7.7.7.7.7.7.7.7.7.7.7.7.7.7.7.7.7.7.7.7.7.7.7.7.7.7.7.7.7.7.7.7.7.7.7.7.7.7.7.7.7.7.7.7.7.7.7.7.7.7.7.7.7.7.7.7.7.7.7.7.7.7.7.7.7.7.7.7.7.7.7.7.7.7.7.7.7.7.7.7.7.7.7.7.7.7.7.7.7.7.7.7.7.7.7.7.7.7.7.7.7.7.7.7.7.7.7.7.7.7.7.7.<th>部を実現していく。 育てが楽しい風土づ どもと育つ地域・まち 者の希望が叶う環境 べての子どもの幸せ 置付け> ーを目指し、令和5年 の1つとし、その政策 こ記の達成を目指す</th><th>格と併せて着くり、 くりづづくりり に中には はない。 はないで、 もないで、 もなで、 もなで、 もなで、 もなで、 もなで、 もなで、 もなで、 もな</th><th>·した「京者 婚活応援 で援コンシ</th><th>『府子育て環境日本 :プロジェクト」の実施 ェルジュの配置や婚</th><th>一推」を記る</th><th>進戦略」で、「若清 挙げている。 を援ボランティア(!</th><th>暮らしやすい「子育て 者の希望が叶う環境 婚活マスター)による るとともに会員数の</th>	部を実現していく。 育てが楽しい風土づ どもと育つ地域・まち 者の希望が叶う環境 べての子どもの幸せ 置付け> ーを目指し、令和5年 の1つとし、その政策 こ記の達成を目指す	格と併せて着くり、 くりづづくりり に中には はない。 はないで、 もないで、 もなで、 もなで、 もなで、 もなで、 もなで、 もなで、 もなで、 もな	·した「京者 婚活応援 で援コンシ	『府子育て環境日本 :プロジェクト」の実施 ェルジュの配置や婚	一推」を記る	進戦略」で、「若清 挙げている。 を援ボランティア(!	暮らしやすい「子育て 者の希望が叶う環境 婚活マスター)による るとともに会員数の
	番号	項	目					内容			
個別事業の内容	2	きょうと婚活ターの運営		 結婚したい未婚者の希望が叶えられるよう、きょうと婚活応援センターの運営として、以下の取組を行う。 ・月、木~日曜日の週5日開所し、対面又はオンラインでのイベント、セミナー、相談業務、会員登録等を行う。 ・地域スポット(京都府全域で、各市町村との共催により、センタースタッフ等が出張し、個人会員登録相談、イベント等を実施)の開催。 ・AIマッチングシステムやオンライン婚活システムの活用によるお相手紹介、引き合わせ、各種相談対応、オンライン婚活セミナー・婚活イベントの開催・センター主催の婚活セミナーやイベント(体験型婚活イベント、移住婚イベント等)の開催・婚活支援ボランティア(婚活マスター)の養成研修(年2回)、スキルアップ研修(年4回:センタースタッフも参加)の開催・結婚支援コンシェルジュが府内市町村やNPO、企業等による地域の婚活イベントの企画・開催を支援し、府内全域での出会いの機会を拡充(きょうと婚活支援ネットワーク会議登録団体等への活動支援を含む)・会員数の増加及びセンター認知度向上のための広報周知(チラシ、ポスター、HP、SNS) 							
1											

・きょうと婚活応援センターについては、平成27年度に婚活の総合支援拠点として設置されて以降、順調に会員数が増加しているところであるが、認知度をさらに向上させるため、非会員を対象にしたイベント等の実施や、SNS等効果的な広報を行う。
・結婚を希望する人が早期から婚活に取り組めるよう後押しし、特に20代の会員数増加を図るため、ニーズに応じたアプローチを行う。

		KPI項目	単位	目標値(時点)	現状値(時点)		
少子化対策全体の重要	合計特殊的	出生率	%	全国平均並み(2040年)	1. 11		
業績評価指標(KPI)及び							
定量的成果目標							
※全事業共通							
		項目	単位	直近の実績値(時点)			
参考指標	合計特殊的	出生率		1.11 (R5)			
※全事業共通	婚姻件数		件	8731 (R5)			
	婚姻率			3. 5	(R5)		
		KPI項目	単位	目標値(時点)	現状値(時点)		
	番号	項目					
		(アウトプット)					
	1	きょうと婚活応援センター会員登録者数	人	3000	2697		
	2						
	3						
	4						
個別事業の重要業績評	(5)						
価指標(KPI)及び定量的		(アウトカム)					
成果目標	1	交付金事業に対する事業対象者(住民等)の満足度(該当事業に限る。)	%				
	2	希望どおりの結婚に向けて後押ししてくれたと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%				
	3	結婚、妊娠・出産、子育てに前向きになったと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%				
	4	婚活マスターの支援を受けた者の満足度	%	80	調査中		
	5	引き合わせ成立者数	人	2700	調査中		
	6	きょうと婚活応援センター認知率	%	50	調査中		
	7						

自治体名 京都府

本事業の担当部局名 総合政策環境部総合政策室

-	事業メニ	<u>-</u>	結婚_妊娠・出産_子育てに温かい社会づくり・気運醸成事業									
	区分		重点メニュー									
関:	連事業と	<u> </u>	3_2_1 自治体間連携を伴う結婚、妊娠・出産、子育てに温かい社会づくり・気運醸成									
	個別事	業名	子育ての	子育ての楽しさ広げる事業						継続		
	実施期	 月間	ŕ	介和7年	F4月1日	~ 令和8年3月31日			事業開始年度	令和6年度		
総事	事業費(A)(円)	5,000,000			寄付金その他の収入予定額	付金その他の収入予定額(B)(円)			5,000,000		
	費支出 動率を乗し	予定額(円) る前の額		5,000,000								
		 区分	諸謝	金	賃金	報償費	Τ	旅費	需用費	役務費		
	総	事業費		0	0	0		0	0	0		
費	対象経費	貴支出予定額		0	0	0		0	0	0		
用	対象外経	費支出予定額		0	0	0		0	0	0		
内 訳		区分	委託	料	使用料及び賃借料	備品購入費		負担金	補助金	計		
	総	事業費		0	0	0		5, 000, 000	0	5, 000, 000		
円	対象経費	費支出予定額		0	0	0		5, 000, 000	0	5, 000, 000		
	対象外経	費支出予定額		0	0	0		0	0	0		
		0	※上記対	象経費	支出予定額に本	交付金の対象外	となる	る経費は含まれ	ていない。			
対策の)全体像)本個別	る少子化 なびその 事業の位	また環重重重 本京 重 京基の (3) まで (4) の	重な路略略 事子守略ど戦う 念想ジ育点」12.3.4 業育が1もと環 計 と環までする ですがい きょう とほり できます して できます して できます しょう かい こうしょ かい かい こうしょ かい こうしょう かいしょう かいしょう しょう はい しょう	京都を実現していく。 子育てが楽しい風土で、 どもと育望が叶う環境である。 本での子どもの幸せない。 造置付け 環境日本一推進戦略 に取り組む4つの重 子育でたくさんプロジ でで、実に向けた基準 で、変に向けた基準	略と併せて着実に がくり うづくり うづくり うからい うからい からい からい からい からい からい からい からい	推進す	「る政策群」を実施	らし、全ての人にとっ	て暮らしやすい「子育		
	番号	項	目内容									
「地域少子化対策重 点推進交付金に係る 1 京都府市町村連携会 議(仮称)」の設置 地域の実情・課題や今後の取組等を京都府市町村連携会議(仮称)」においてま 組を広域的に展開する。												
個別事業の	2	京都版ミニ の開催		ンヘン 子育て世帯だけでなく若者や子育てを終えた方など社会全体が子どもの笑顔に触れることで、子どもや子育てに対するポジティブなイメージの創出を図る。 具体的には、府内人口の約6割を占め、高い訴求力を見込める京都市域において、若者等のサポートを受けながら、子どもが仮設のまちをつくる交流事業をモデル的に実施する。実施にあたっては、京都府・京都市の双方で費用を負担するとともに、企画・検討から実運営に至るまで自治体間、さらには地域の団体や企業等とも連携しながら進めていく。								
の内容	3											

<過年度の本個別事業で浮かび上がった課題の分析及びそれに対する取組(ステップアップ)> 本取組の効果を波及させ、持続性を担保していく必要があるため、モデル実施を通じて、取組に対する賛同者の拡大を目指す。

		KPI項目	単位	目標値(時点)	現状値(時点)	
少子化対策全体の重要	合計特殊	出生率	%	全国平均並み(2040年)	1. 11	
業績評価指標(KPI)及び						
定量的成果目標						
※全事業共通						
		項目	単位	直近の実績値(時点)		
参考指標	合計特殊	出生率		1. 11 (R5)		
※全事業共通	婚姻件数		件	8731 (R5)		
	婚姻率			3. 5		
		KPI項目	単位	目標値(時点)	現状値(時点)	
	番号	項目				
		(アウトプット)				
	1	参加者の人数	人	500		
	2					
	3					
	4					
個別事業の重要業績評	(5)					
価指標(KPI)及び定量的		(アウトカム)				
成果目標	1	交付金事業に対する事業対象者(住民等)の満足度(該当事業に限る。)	%			
	2	希望どおりの結婚に向けて後押ししてくれたと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%			
	3	結婚、妊娠・出産、子育てに前向きになったと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	70		
	4					
	(5)					
	6					
	7					
1	8					

自治体名 京都府

本事業の担当部局名 文化生活部男女共同参画課

<u> </u>	事業メニ	ــــــــــــــــــــــــــــــــــــــ	結婚_妊娠・出産_子育てに温かい社会づくり・気運醸成事業									
	区分		重点メニュー									
関道	重事業メ	ニュー	3_2_3 育児休業取得と家事・育児分担の促進									
	個別事	業名	ワーク・ライフ・バランス推進及び育児休業取得促進に係る企業支援事業 (一般財源での 実施も含む)								新規	
	実施期	間	令和7年4月1日			~	令和	令和8年3月31日			事業開始年度	令和7年度
総事	事業費(/	(6,50	0,000	寄付金その他	の他の収入予定額(B)(円)				差引額(A-B)(円)	6,500,000	
	費支出う	予定額(円) る前の額					6,50	0,00	00		l.	
	[区分	諸謝金		賃金	報	償費		旅費		需用費	役務費
	総	事業費		0	0		0		0		0	0
費	対象経費	費支出予定額		0	0		0		0		0	0
用	対象外経	費支出予定額		0	0		0		0		0	0
内 訳	[区分	委託料		使用料及び賃借料	備品	購入費		負担金		補助金	計
$\overline{}$	総	事業費	6, 500, 0	00	0		0		0		0	6, 500, 000
円	対象経費	費支出予定額	6, 500, 0	00	0		0		0		0	6, 500, 000
	対象外経	費支出予定額		0	0		0		0		0	0
	(0	※上記対象	経費	きままで きゅうけい さいしゅう きゅうしゅう きゅうしゅう しゅう きゅう きゅう きゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう し	交付金 <i>σ</i>)対象外と	なる	ら 経費は含まれ	て	いない。	
対策の	全体像 本個別	る少子化 及びその 事業の位	戦まて 20の重点 20の重点 20の重点 20の重点 20の重点 20の重点 800 200 200 200 200 200 200 200 200 200	点戦の子子若す のの環新 ダー画 施	京都を実現していく。 でするでが楽しい風土で、 ででが楽しい風土で、 でではまります。 ででの子どもの幸せ、 ででの子どもの幸せ、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 では、	めた。 略と併せ うづくりり うづくり ・ 点で ・ ボックト	て着実に推					取り組む4つの重点 て暮らしやすい「子育
	番号	項	項目 内容									
	1	働きやすい づくり支援	職場環境 「対象]ワーク・ライフ・バランス推進や育児休業取得促進に課題を抱えている中小企業 「内容]中小企業に対して働きかけを行い、企業のニーズや課題を抽出し育児休業取得促進をはじめとした働き方の見直しや一般事業主行動計画の策定・目標達成のための支援、女性活躍推進のための支援等、企業の希望に合わせた形式・内容の課題解決のための支援を実施									

_												
個別事業の内容	2	男性育休促ナーの実施		[対象]府内中小企業の若手社員や人事・総務担当社員等 [回数]1回 [内容] ○ 育児休業制度の解説(最新情報等) ○ 育休取得による社員と企業双方のメリットの説明 ・企業の刈ット:働きやすい職場環境づくりの促進、業務の標準化(属人化解消)、生産性の向上、企業イメージ アップ、就職希望者の増加 ・社員の刈ット:家事育児分担の促進、取るだけ育休の防止、仕事の効率アップ、妻の離職を防ぐ ○ 男性社員が育児休業を取得しやすくする職場環境づくり・意識改革 等								
	3											
	く過年	度の本個別	事業で浮か	・び上がった課題の分析及びそれに対する取組(ステップアップ	プ)>							
İ												
				KPI項目	単位	目標値(時点)	現状値(時点)					
少子化	対策全	体の重要	合計特殊的	出生率	%	全国平均並み(2040年)	1, 11					
		E(KPI)及び										
	成果目	標										
※全事	業共通											
				項目	単位	直近の実	績値(時点)					
参考指			合計特殊的	出生率			(R5)					
※全事	業共通		婚姻件数		件	8731 (R5)						
			婚姻率				(R5)					
				KPI項目	単位	目標値(時点)	現状値(時点)					
			番号	項目								
				(アウトプット)								
			(1)	働きやすい職場環境づくり支援	社	40						
			2	セミナーの参加者数	人	40						
			3									
			4									
		要業績評	(5)									
	価指標(KPI)及び定量的			(アウトカム)								
成果目標		1	交付金事業に対する事業対象者(住民等)の満足度(該当事業に限る。)	%	95							
		2	希望どおりの結婚に向けて後押ししてくれたと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%								
		3	結婚、妊娠・出産、子育てに前向きになったと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%								
		4										
			5									
		<u>6</u>										
			8									